

40 みんなの森づくり

みんなで相談し、協力して森づくりをする。

かつて生活のために利用していた森が、その後手入れされなくなると、荒れた森になってしまいます。現在は竹林がどんどん拡大している問題もあります。みんなでできる森づくりを考えましょう。



ねらい

森がよい状態にいられるように、（人に言われなくても）私たちにできることを考え、実践できるようにする。

達成目標

- ・森づくりのために何が出来るか、ディスカッションして自分の意見が言えるようになる。
- ・森づくりの技術（方法）について、具体例をあげて説明できる。



導入

森づくりの事例などを紹介し、各自の森づくりのイメージづくりをする。

本体

どんな森づくりをするか、話し合い、作業内容や工程、メニューなどについて決める。現地での活動を実践する。活動の結果をとりまとめる。

ふりかえり・わかちあい

一連の活動の結果、それぞれが感じたこと、気づいたことを、ゆっくりとした時間をとってふりかえり、お互いに紹介しあう。

まとめ

森づくりの活動は、一回や一シーズンの作業で終わるものではないので、次年度の継続のための、または次のクラスに引き継ぐためのメモを作る。

実施のポイント

事前に森づくりの場所を確保しておく必要がある（その交渉を活動の中も含めてもよいが、時間がかかる）。竹林の管理、ドングリの苗づくり～植樹、人工林の手入れなど、メニューはいろいろ考えられる。

- ◆所要時間 活動の内容による
- ◆人数 10人～40人
- ◆関連教科等 総合的な学習の時間、理科
- ◆焦点を当てる能力 想像する、検討する、具体化する、計画する、実行する
- ◆準備するもの 森づくりに関する道具類一式
- ◆安全のポイント 活動に伴う危険をあらかじめ予測し、全員で共有しておくこと

評価の視点

一連の活動に積極的に関わり、スキルの習得をしたり、自分の意見をもつことができるようになること。

発展・応用

一回の、あるいは一シーズンの活動に終わらず、複数年の活動にするなど、総合的な計画をもつとよい。また、10年後、20年後の林の生長を見る約束をしておくのも楽しい。

オリジナル／自然教育研究センター

みんなの森づくり 40

せいちょう きろく
ドングリの成長を記録しておきましょう

芽や根がでてくるのはどこでしょう？
（矢印をつけておきましょう）

年 月 日

ドングリを植えてから1年後の様子をスケッチしましょう。

ドングリの芽と根がでた様子を
スケッチしましょう。

年 月 日

年 月 日

そうぞう か
10年後の様子を想像して描いてみましょう。

年 月 日 名前